

R 6 芽室町議会活性化計画主要事業

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

主要3項目

- 1 議会運営の基本理念と基本方針の共有 **C 実行・継続**
 - 「議会基本条例」の点検と検証
 - 新たな議会運営（第3ステージ）に向けた体制構築
- 2 多様な議員のなり手実現に向けての環境創出 **C 実行・継続**
 - 議員定数・報酬のあり方の再考
 - 議員のなり手不足解消に向けた方策再考
- 3 議員間討議を前提とした政策形成サイクルの再起動 **C 実行・継続**
 - 計画的な協議・議論に基づく機能的な政策提案
 - 町民の声を議会の行動につなげる機動的な政策形成の実践

改善・新規活性化5事項

A=おおむね達成した
B=達成しているが改善余地あり
C=達成していない
D=取り組んでいない

| 項 目 | | 内 容 | 達成時期 |
|----------------------|----|--|----------|
| ■新規事項 | 区分 | | |
| 1. 外部評価による議会活動の精査と向上 | 継続 | ・ 議会モニターによる外部評価（前年度未達事項） | R7 年 3 月 |
| 2. 自己評価制度の分析と改善 | 継続 | ・ H O P S 提言に基づく議会内検証（議員間討議の活用） ・ 議会サポーターの専門的知見の活用（諮問会議答申事項） | R7 年 3 月 |
| 3. 情報公開の点検と見直し | 新規 | ・ 検討スケジュール（検討項目・優先順位等）の整理（諮問会議答申事項） ・ 「芽室町議会の個人情報の保護に関する条例」の理解と実践 ・ わかりやすい「議会活性化計画書」への検討と改正（H O P S 提案事項） ・ 読まれる「議会白書」への検討と改正（H O P S 提案事項） | R7 年 3 月 |
| 4. 広報広聴の機能拡充と手法の改善 | 新規 | ・ 議会モニター機能の拡充（改正モニター規程の効果・効率的な運用） ・ 町民との意見交換会の手法改善（諮問会議答申事項） ・ 専門技術（民間活力）を活用した広報の検討（諮問会議答申事項） | R7 年 3 月 |
| 5. 多様な議員のなり手実現に向けて検証 | 新規 | ・ 議員間討議の実施 ・ 目的の明確化と事業内容の協議、検討 ・ 「(仮称) 議員のしくみ」等広報の検討 ・ 政務活動費の導入検討 ・ 活動量の精査と質の向上→定数と報酬の根拠（諮問会議答申事項） ・ 「議員定数と報酬の見直し」の協議・検討 ・ 「(仮称) 議会ハラスメント防止条例」策定に向けた調査研究 | R7 年 3 月 |

[R 6 年度評価]

[illegible]

[R 6 年度評価]

| 達成評価 | 目標達成 | 概ね達成 | 未達成 | 未着手 | 進行管理 | 完了 | 継続 | 見直し | 取止め・廃止 | その他 |
|-------|---|------|-----|-----|------|----|----|-----|--------|-----|
| 達成状況 | <p>1. 自己評価結果の検証</p> <p>令和5年度についてはこれまで同様の様式で実施した。その際に行った議員アンケートの結果を活かし、評価基準と評価シートの様式を変更した。</p> <p>2. 評価手法の検討と実行</p> <p>評価内容を議員個人の行動評価ではなく「議会」を主語にした「議会基本条例の評価と点検」を目的とし取り組んだ。</p> | | | | | | | | | |
| 情報提供 | | | | | | | | | | |
| 意見聴取 | | | | | | | | | | |
| 議員間討議 | <p>令和6年6月3日、12月20日の全員協議会において、前年度実施した議員アンケートの結果を反映した新しい評価シートの様式等について協議し確定。令和7年1月10日を提出期限として新たな評価シートを用いて各議員が評価を行い、1月30日の全員協議会においては、分析結果を共有し、今回の評価によって条例改正を要するものはないことを確認した。</p> | | | | | | | | | |
| 特記事項 | <p>今後も必要に応じ、評価シートの様式等については適宜工夫していく。</p> | | | | | | | | | |

[R 6 年度評価]

| 達成評価 | 目標達成 | 概ね達成 | 未達成 | 未着手 | 進行管理 | 完了 | 継続 | 見直し | 取止め・廃止 | その他 |
|-------|--|------|-----|-----|------|----|----|-----|--------|-----|
| 達成状況 | <p>１．法令等基礎知識の研修 個人情報保護等に関する講師について町村議長会等へも打診し検討したが適当な講師が存在しないことから実施していない。</p> <p>２．ＨＯＰＳ提言事項の検討 より読みやすく、わかりやすい「議会活性化計画書」、「議会白書」への改正を実施した。</p> <p>３．諮問会議答申事項の検討 折に触れて答申事項を確認しながら取り進めた。</p> | | | | | | | | | |
| 情報提供 | 議会ホームページにおいて公開した。 | | | | | | | | | |
| 意見聴取 | | | | | | | | | | |
| 議員間討議 | <p><議会活性化計画> 令和６年６月３日の全員協議会において議会運営委員会と全員協議会をそれぞれ３回経ながら改訂していくスケジュールを確認。 その後、６月１９日、９月２５日の全員協議会での協議を経て改訂版の議会活性化計画を確定した。</p> <p><議会白書> 令和６年６月３日の全員協議会において議会運営委員会と全員協議会をそれぞれ３回経ながら改訂していくスケジュールを確認。 その後、６月１９日、６月２８日の全員協議会での協議を経て改訂版の議会白書を確定した</p> | | | | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | | | | |

[R 6 年度評価]

[illegible]

[illegible]

[R 6 年度評価]

| 達成評価 | 目標達成 | 概ね達成 | 未達成 | 未着手 | 進行管理 | 完了 | 継続 | 見直し | 取止め・廃止 | その他 |
|------|--|------|-----|-----|------|----|----|-----|--------|-----|
| 達成状況 | <p>1. 議員間討議の実施</p> <p>令和6年6月28日に議会サポーターの佐藤淳氏を招いて「SOUNDカードを活用した討議の実践」について研修を実施し、SOUNDカードを議員間討議の新たな手法として学んだ。その後、令和6年9月25日には、これまでの議会改革の歩みについて議員間討議を実施し、各々が考える議会の目標設定と取組みについて考察した。また、12月3日には「動議と質問」、12月9日には「政務活動費」、12月20日には「議員定数・報酬」について、研修及び議員間討議を実施し、課題の整理や具体的な数字とその根拠等について明確にした。</p> | | | | | | | | | |
| | <p>2. 「(仮) 議員のしくみ」等広報の検討</p> <p>議会改革諮問会議からの答申を受けてのものであるが、活性化策4にある「議会のトリセツ」と合わせる形で作成できないか検討中。</p> | | | | | | | | | |
| | <p>3. 政務活動費の導入検討</p> <p>令和4年度の議運答申に沿い、令和6年度末までに方針を決めることを目標に取り組みを進めた。令和6年12月9日に実施した議員間討議において、当時の答申内容にある「導入する際の課題（①チェック体制・②事務量・③外部評価・④町民との合意形成）への解決策が見出せたことから、政務活動費導入に向けた議運案作成など全議員での協議を進めた。原案作成や議会サポーターとの協議、議会改革諮問会議への諮問、本会議への上程、議決など具体的なスケジュールを令和6年12月20日開催の第15回全員協議会で決定した。令和7年3月14日及び3月24日開催の全員協議会においては具体的事項について協議している。</p> | | | | | | | | | |
| | <p>4. 議員定数と報酬見直し検討</p> <p>令和6年10月17日、議長より議員定数と報酬について議会運営委員会に諮問された。11月6日、5名の議会改革諮問委員へ議長から委嘱状の交付があり、議長から会長に諮問書を交付した。12月20日全議員が「報酬と定数」をテーマに議員間討議を行い、より具体的な数字の算出について協議した。今後、議会改革諮問会議に諮るためには、より具体的な議会案が必要であるとの議会サポーターからの提案を受けたことから、引き続き議会内での協議を進める。</p> | | | | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| | 5.（仮称）議会ハラスメント防止条例制定の検討 他自治体議会の条例を研究している。3 月定例会にて議員が一般質問を行っていることから、その経過を踏まえて今後具体的な議論を進めていく。 |
| 情報提供 | |
| 意見聴取 | |
| 議員間討議 | |
| 特記事項 | |